

「子育て四訓」

- 一、乳児はしっかり肌を離すな（基本的信頼感）
- 一、幼児は肌を離せ。手を離すな。（自律性・自主性）
- 一、少年は手を離せ。目を離すな。（勤勉性）
- 一、青年は目を離せ。心を離すな。

子どもの発達段階に比例して、親と子どもの距離を離していくことですが、どの段階でも子どもを想う愛情や信頼感「心」は離してはいけない、常に持ち続けることが大切です。そんな親としてのスタンスを分かりやすい言葉で教えてくれています。

小学校低学年の子どもたちは、様々な場面で大人が「手」をかける必要があります。ですが、これをいつまでも行っていると自立につながりません。そこで、少しずつ大人が手を離し、子どもに任せる部分を多くしていきます。

中学年になる頃には、任せる部分がずいぶん増えてくるのですが、このときに大人は望ましい方向へと導くための「目」をかけなければなりません。これは高学年になっても同様です。そして、青年期。子どもたちが親元から離れていけば、目をかけることもままなくなります。そこで大人は「心」をかけていくことが大切になってきます。

もちろん、子どもの発達は様々で、この通りにいくわけではありません。ただ親として、子どもの成長にかかわる大人として大切にしたい視点だと考えています。

家庭教育だより

令和8年9月号



育てよう未来ある子どもたち

👣 あせらず一歩いっぽ 👣

子育ての方法は多様であり、これが正解というものがあるわけではありません。育児書やネットの情報を集めてその通りに実行しても、なかなかうまくいきません。大切なことは、ありのままの子どもを見て、子どもの個性を理解し尊重することではないでしょうか。子どもの変化に驚かされ、成長に目を細めることもあるはずです。子育てを楽しみながら、親として少しずつ歩みを進めていけるとよいと思います。不安や悩みがありましたら、いつでもご相談ください。一緒に考えていきましょう。

子育てに関する情報として付記の QR コードを読み取っていただくと、項目ごとの詳しい情報を得ることができます。ぜひ、ご活用ください。

【コミュニケーション力 (話す力)について】

多くの人が暮らす社会の中で欠かせないコミュニケーションの力。その土台となるのが、人の話を「聞く力」と自分の思いを伝える為の「話す力」です。「話す力」を育むには、話す経験を重ねることが必要です。話す経験をたくさんさせるには、子ども自身に「話したい」という気持ちがある事が大切です。



【子どもと メディアについて】

スマホやタブレット、ゲーム、パソコンなど家庭にあるメディア機器は、急速なスピードで普及しています。乳幼児を持つ親のスマホ保有率は90%以上ほぼ100%近くになっています。スマホアプリ、タブレットを使った子育てが増え、その結果、親子の愛着形成や他者との関わりなど心や言葉の発達に重大な歪みや遅れがあると言われていいます。



【自立心を育てよう】

子どもにとっての自立心は、生活や遊びの中で「自信をもって主体的に行動する力」が大切になります。様々な体験の積み重ねによって達成感や自信が得られます。



【反抗期について】

子どもは、からだの成長と共に心も成長していきます。

子どもの成長過程で、自己の確立や自立を目指し、親や周囲の意見に反発するような時期が反抗期です。適切な距離感で子どもの気持ちを尊重し見守る事が大切になります。

